

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第197号(2017.10.05発行)

このメルマガは、どなたに転送いただいても構いません。

なお、本メールが不要な方は career-up@hue.ac.jp までご連絡ください。

【お知らせ】

- 2017年度3学期の受講生を募集しております。
2学期の申込は終了いたしました。

《キャリアアップ・プログラム》 <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/index.html>



《カルチャー講座》 <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html>



【目次】

- ・巻頭言………広島経済大学 経済学部
経営学科 教授 岡田 斎
- ・広島経済大学 HP の紹介
- ・キャリアアップ・プログラム(CP)/カルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせ

■ 巻頭言

「BCP(事業継続計画)とは」

私の今年度のキャリアアップ・プログラムのタイトルは、「BCP(事業継続計画)入門」である。最近では、新聞紙上でも BCP という言葉が散見されるようになってきた。社会における BCP の認識も着実に向上していると思っている。しかし、この読者の方々の中には、BCP についてご存知のない方もいらっしゃると思うので、今回は BCP について簡単に説明したい。

地震、洪水等の自然災害、感染症、テロ、外国における暴動等を含む様々な事象への対応は、21 世紀に入り社会セキュリティとして位置づけられるようになった。そして、2012 年には「ISO22301:2012 社会セキュリティ-事業継続マネジメントシステム-要求事項」として規格化されるにいたった。この規格では社会セキュリティを「意図的及び偶発的な、人的行為、自然現象及び技術的不具合によって発生する、インシデント、緊急事態及び災害から社会を守ること、並びにそれらに対応すること」と定義されている。

2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災は、多数の企業に多大な被害を与えた。特に、大震災によって被害を受けた企業を含むサプライチェーンの分断により事業の継続が中断、あるいは困難になった。その後、2016 年 4 月 14 日と 16 日に二度も震度 7 を記録した熊本地震でも、多くの企業が被災し、企業活動の停止または縮小を余儀なくされたのである。

企業の視点に立てば、事業の遂行を阻む様々なリスクに対し、できる限り対策を講じ事業の継続への影響を最小限にする取り組みが強く求められよう。このような取り組みは事業継続計画(Business Continuity Plan: 以下 BCP)と呼ばれ、2000 年代から政府機関が率先して、その導入を促してきた。

BCP は、事故や災害等が発生した際に、「如何に事業を継続させるか」若しくは「如何に事業を目標として設定した時間内に再開させるか」について様々な観点から対策を講じることである。また、「事業継続とは、企業や組織にとって欠くことのできない重要な事業(以下「重要業務」という)あるいは業務を選び、それを許容される時間内に復旧できるようにし、中断が許されない重要業務は中断させないようにすることである。」としている。

BCP の概念図を図に示す。横軸は時間軸、縦軸は操業度を示し、災害が発生して以降、何も対策を講じない場合、すなわち現状の予想復旧曲線と、BCP を実践した場合の復旧曲線をあわせて示している。これら二つの曲線の相違は、災害発生時にも防災対策を施して目標とする操業度を確保し、さらに事業継続対策を行って早期に操業を復旧させていることである。すなわち、BCP を導入する前の「現状の予想復旧曲線」を見ると、災害が発生した直後には操業は完全に停止し、創業が再開あるいは復旧するまでには長時間がかかる。一方、BCP を実践することによって、災害が発生しても中断が許されない重要業務の操業は停止せず、また、災害発生後、事前の計画通り復旧を進めることによって災害前の操業度に早く復帰できる。

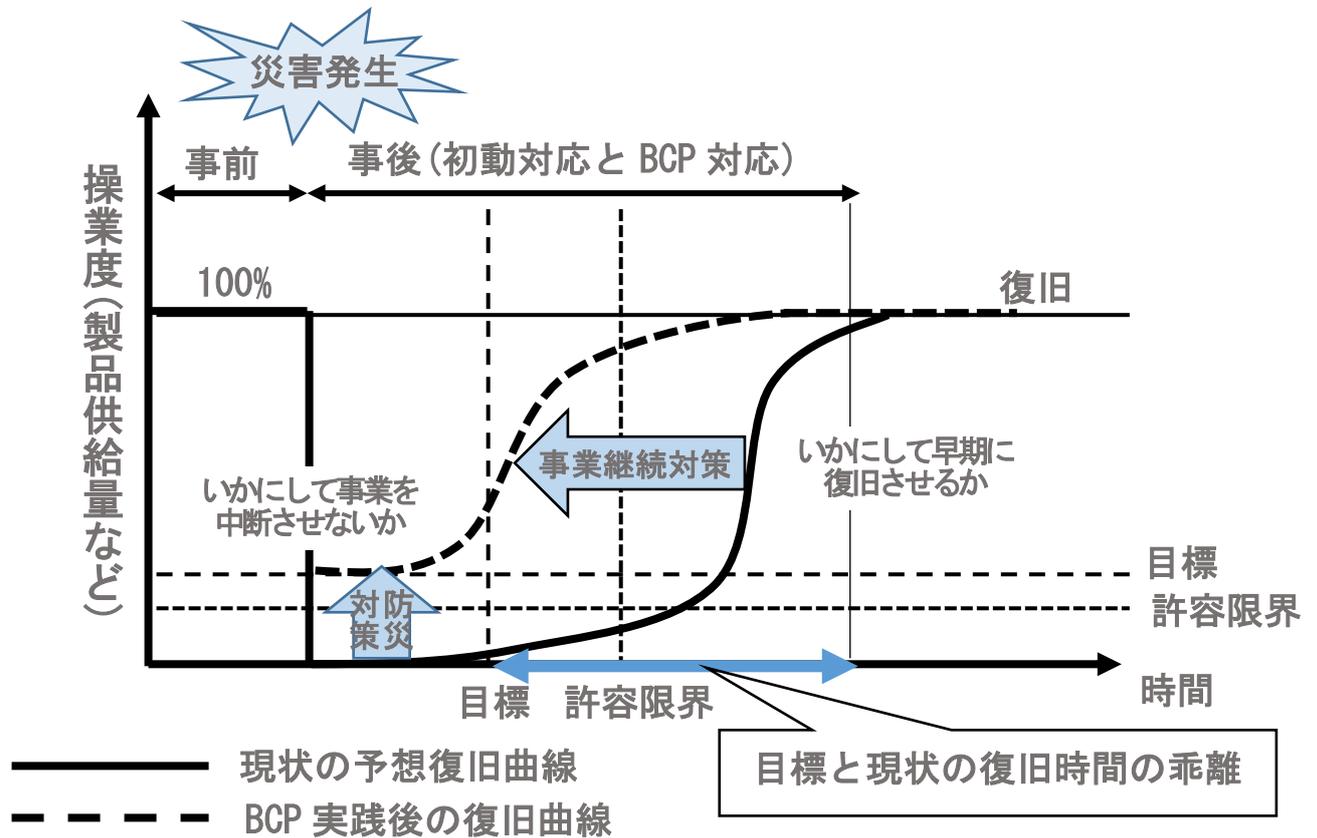


図 BCP の概念図

事業継続は企業自らにとっても

- ・重要業務中断に伴う顧客の他社への流出
- ・マーケットシェアの低下
- ・企業評価の低下

等から企業を守る経営レベルの戦略的課題と位置づけられる。

1993年、ニューヨークのWTCの爆破テロで多くの金融機関がバックアップセンターの活用や、バックアップサービス業を活用するなどにより、BCPの有効性が明確になった。同時多発テロに際して、米国メリルリンチ証券は、世界貿易センタービル近くに複数のオフィスがあったが、事前に策定されていたBCPと日ごろの訓練に基づいて速やかに従業員をマンハッタン島の対岸に避難させ、定められた優先度に従って事業の復旧を図り、最重要拠点を失ったにもかかわらず、翌日には公債市場を再開することができた。株式市場でもニューヨーク証券取引所が再開され次第、すぐに業務を始めた。一方、バックアップサイトなどをもたず、機能を停止せざるを得なかった金融機関も少なからずあり、当日に決済予定の取引データをすべて失ったところもある。不測の事態に対応できる企業とそうでない企業との差が明らかになったのである。

このように、BCPは現代の企業にとって欠かすことのできない、取り組むべきマネジメントであるが、企業のBCPの策定状況は、2017年度においても国が掲げた普及目標には及ばず、わが国ではBCPの普及が進んでいるとは言い難いのである。

今回のキャリアアップ・プログラムでは、一見ハードルが高そうなBCPの理解とその策定に関する基礎知識を解説したい。そして、受講者が所蔵する企業がBCPを未策定であれば、その策定の一助となれば望外の喜びである。

■広島経済大学のご紹介

▶6月1日より、ホームページがリニューアルされました。大学のニュースやイベントなど、より充実した内容でご覧いただけます。また、スマートフォンからもより見やすくなっております。

【広島経済大学HP】 <http://www.hue.ac.jp/>

▶10月に入り、明德館にも夏休み前の活気が戻ってきました。卒論作成、資格取得、課題など、それぞれに頑張っているようです。いよいよ来週から2学期キャリアアップ・プログラムが開始されますが、このほかにも、本学の教員が講師を務める「シティカレッジ」「ひろしまカレッジ」の受講申し込みが開始になりました。受講は無料となっておりますので、興味のある方は下記ホームページよりお申し込みください。

シティカレッジ

http://www.hue.ac.jp/visitors/local/city_college/index.html

ひろしまカレッジ

http://www.hue.ac.jp/visitors/local/hiroshima_college/index.html

■キャリアアップ・プログラム(CP)やカルチャー講座(CS)または本学に関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へご連絡ください。

〒731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学 教育・学習支援センター

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail career-up@hue.ac.jp までどうぞ。

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM